

ニッケル化合物・Ni

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<p>○適切な呼吸器保護具（防じんマスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護メガネ、ゴーグル型、全面保護眼鏡）、適切な保護衣（長袖作業衣）を着用すること。</p>	<p>○吸入した場合…空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。</p> <p>○皮膚に付着した場合…多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を再使用前に洗濯すること。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。</p> <p>○眼に入った場合…水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。</p> <p>○飲み込んだ場合…口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。</p>	<p>○貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>○装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。</p> <p>○使用前に使用説明書を入力すること。</p> <p>○すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>○この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。</p> <p>○取り扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>○適切な個人用保護具を使用すること。</p> <p>○汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p> <p>○粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。</p> <p>○環境に放出しないこと。</p>	<p>○吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ</p> <p>○アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ</p> <p>○発がんのおそれの疑い</p> <p>○呼吸器、腎臓の障害</p> <p>○長期又は反復ばく露による呼吸器の障害</p> <p>○長期的影響により水生生物に有害のおそれ</p>